

表1 佐伯湾赤潮プランクトン調査結果 令和5年6月20日 単位:細胞数/ml

採集地点	調査時間	水深 (m)	水温 (°C)	塩分 (PSU)	DO (mg/l)	シャットネラ sp.	カレニア ・ミキモイ	ヘテロシ グマ ・アカシオ	クロロ デニウム ・ポリクリ コイデス
1. 夏井沖									
2. 長田沖									
3. 片白島	8:56	0	20.9	32.31	8.0	0	0	0	0
		8	19.4	32.49	8.6	0	1	0	0
4. 小田代	9:07	0	21.4	31.73	8.1	0	1	0	0
		5	19.8	32.44	9.2	0	0	0	0
5. 沖松浦漁港	9:13	0	22.4	31.40	8.3	0	0	0	0
		8	19.7	32.50	11.1	0	2	0	0
6. 鶴見振興局裏	9:16	0	23.0	30.44	8.1	0	0	0	0
		7	19.7	32.25	11.0	0	1	0	0
7. 鶴見ボンツーン	9:20	0	21.9	31.41	8.3	0	0	0	0
		2	21.3	31.72	9.0	0	0	0	0
		5	20.0	32.17	9.4	0	0	0	0
		10	19.5	32.25	9.7	0	3	0	0
		12.4	19.4	32.26	9.6	0	4	25	0
		13.4	19.4	32.25	9.8	0	3	0	0
8. 石間	9:44	0	20.6	31.93	8.3	0	0	0	0
		7	19.4	32.12	9.3	0	17	0	0
9. 霞ヶ浦	9:52	0	24.0	30.31	8.8	0	0	0	0
		2	21.7	31.66	9.1	0	2	0	12
10. 守後	10:01	0	22.8	30.17	8.6	0	0	0	0
		5	20.1	32.03	9.0	0	0	0	0
11. 片神	10:10	0	22.9	30.37	8.3	0	0	0	0
		5	20.1	31.97	8.8	0	0	0	0
12. 片神～彦島	10:19	0	22.2	31.13	8.4	0	0	0	0
		9	19.5	32.14	8.6	0	16	25	0
13. 水試前	10:31	0	20.2	32.10	7.9	0	0	0	0
		5	19.7	32.18	8.3	0	0	0	0

※0mの水温・塩分・DOはクロロテックの0.5mの測定データによる

※st.1、st.2は6月21日調査予定

参考:赤潮注意・警戒密度(単位:細胞数/ml)

赤潮プランクトン	注意密度	警戒密度
シャットネラ spp.	10以上	100以上
ヘテロシグマ・アカシオ	5000以上	50000以上
カレニア・ミキモイ	200以上	2000以上
クロロデニウム・ポリクリコイデス	30以上	300以上

\*警戒密度は漁業被害が想定される密度です。

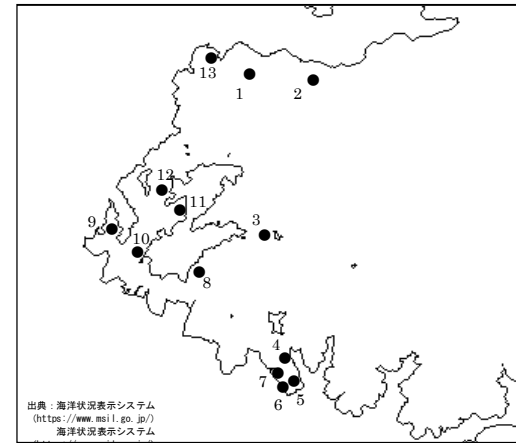
\*アヒ、ササエ等ではカレニア・ミキモイで100~200細胞/mlで斃死する可能性があります。

\*マグリに関しては、赤潮注意・警戒密度に1/10を乗じた細胞密度とします。

### 連絡事項

有害プランクトンのカレニア・ミキモイ、ヘテロシグマ・アカシオ、クロロデニウム・ポリクリコイデスが確認されました。

今後の細胞密度の推移にご注意下さい。



出典:海洋状況表示システム  
(<https://www.ms1.go.jp/>)  
海洋状況表示システム  
(<https://www.ms11.go.jp/>)  
を加工して作成

図. 調査定点図